

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600615
事業所名	グループホーム 寿宴

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し情報を得て祭りや敬老会などの地域行事に参加したり、老人会の寄り合いに出向き歌やゲームなどを一緒に楽しみ交流を深めている。中学校の学校祭に参加したり、ボランティアクラブとの遊びの交流や体験学習の受け入れもしている。事業所の夏祭り花火大会に近隣の方を招いたり、日々の買い物や散歩などで挨拶を交わし交流をしている。認知症理解の講座の開催や、認知症カフェ「ぬくといカフェ」を通して交流や相談なども行い、地域に根差し地域の一員として日常的なつながりを大切にしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族や区長、民生委員、福祉社会長、老人会長や子どもの見守り隊など地域の代表者、地域包括職員の参加を得て、2か月毎に年6回開催をしている。日頃の様子や行事などの活動報告や情報交換をしたり、地域防災訓練や市民館祭りの作品展示、離設時の地域連携について協議したり、連携やサポートなどについての助言や提案を頂いている。意見や要望は職員で共有し運営やサービスに活かすように努めている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 更新手続きや報告などで市役所へ訪れた際には、担当者話し合いや相談、情報交換などをして協力関係を深めるようにしている。また、定期的に市役所に出向き入居に関する相談や制度に関する質問をしたり、情報交換などをして積極的に連携を図るようにしている。豊川市事業者連絡協議会に参加し、研修を受けたり講座の講師を務めたりして継続的な協力関係を保つようにしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日ごろの生活の中で意見や要望を聞き、ケアに反映させるようにしている。家族からは面会や行事の折に必ず声をかけ、現状報告をしたり意見や要望を聞くようにしている。海外や遠方の家族からも意見や要望を聞き運営に活かすようにしている。意見箱を常設し、意見を出しやすい環境を整えている。職員の接遇などについてアンケート調査を行い、結果の公表と共に業務改善やサービス向上、満足度アップに繋げるようにしている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			